

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●日本ダービーはマカヒキが優勝

5月29日(日)の東京優駿(日本ダービー/G I)ではマカヒキ(牡3歳/栗東・友道康夫厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。なお、この勝利によりマカヒキの鞍上・川田将雅騎手(栗東・フリー)は、2008年皐月賞、2010年菊花賞、2012年オークス、2014年桜花賞と合わせてクラシック完全制覇を達成。これは史上8人目のこととなります。

### ●熊沢重文騎手がJRA通算1000勝を達成

5月29日(日)の3回京都12日・第4レースではメイショウヒデタダが1着となり、同馬に騎乗した熊沢重文騎手(栗東・フリー)は、史上30人目、現役では13人目となるJRA通算1000勝(1万4662戦目)を達成しました。また、この勝利は熊沢騎手にとってJRA障害競走208勝目で、田中剛元騎手の207勝を抜いて歴代第3位(現役第1位)の記録となります。

### ●M. デュプレシス騎手がJRA初勝利をあげる

5月29日(日)の3回京都12日・第3レースではセンショウレイナが1着となり、同馬に騎乗したマーク・デュプレシス騎手(ニュージラード)は、JRA初勝利(47戦目)をあげました。

### ●カネヒキリが死亡

5月27日(金)、カネヒキリ(牡14歳)が種付け中の事故のため死亡しました。同馬は2005年・2008年ジャパンカップダート(G I)、2006年フェブラリーS(G I)を制するなどJRA通算13戦7勝・地方9戦5勝・海外1戦0勝の成績を残し、現役引退後は種牡馬として北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで供用されていました。

### ●ヘニーハウンド、ルールプロスパーの競走馬登録抹消

2011年中日スポーツ賞ファルコンS(G III)の勝ち馬ヘニーハウンド(牡8歳/栗東・吉村圭司厩舎)は、5月27日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は32戦4勝で、今後は種牡馬となる予定ですが繋養先は未定です。2014年・2015年京都ハイジャンプ(J・G II)の勝ち馬ルールプロスパー(牡11歳/栗東・北出成人厩舎)は、6月2日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は53戦11勝で、今後は京都府京田辺市の同志社大学で乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●さきたま杯(浦和)はソルテの逃げ切り勝ち

さきたま杯(Jpn II、6月1日、浦和、1400m)は、先手を取った2番人気の大井のソルテ(吉原寛人騎手=金沢、牡6歳、父タイムパラドックス)が、1番人気のベストウォーリアに1馬身半差を付けて逃げ切りました。ドリームバレンチノが3着、ホワイトフーガは5着、3番人気のコーリンベリーは8着に敗れています。

### ●スティールキングが北海道二冠を達成【各地の主要3歳重賞】

北海優駿(5月31日、門別、2000m)は、単勝1.4倍で圧倒的人気のスティールキング(牡、父シルバーチャーム)が4~5番手から直線に入って間もなく抜け出し、北海道二冠を達成しました。九州ダービー栄城賞(5月29日、佐賀、2000m)は、出遅れを挽回して逃げた1番人気のドンプリムローズ(牝、父ゴールドヘイロー)が後続を4馬身引き離して楽勝。サファイア賞(5月29日、盛岡、芝2400m)は、4番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったサンエイゴールド(牡、父ステイゴールド)が6馬身差で圧勝、単勝1.2倍の支持に応えて盛岡芝の重賞を連勝しています。

### ●6月9日の北海道スプリントC(門別)にダノンレジェンドが登場

北海道スプリントC(Jpn III、門別、1200m)は、ダノンレジェンド、ノボバカラ、レーザーバレット、スノードラゴン、アウヤンテブイ(北海道)までが争覇圏内と考えられます。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ●エイシンヒカリが世界1位~英紙レーシングポストの評価

英紙レーシングポストは5月30日付の国際レーティングで、日本のエイシンヒカリ(牡5歳、父ディーブインパクト)をレーティング131の単独世界1位としました(単位はポンド)。エイシンヒカリは5月24日のイスパーン賞(仏G I)を10馬身差で圧勝。同紙によると実際は8馬身差だったとしながらも、このパフォーマンスを高く評価したことになります。2位はアメリカのカリフォルニアクローム(牡5歳、本年のドバイ・ワールドC快勝)で127。3位はオーストラリアのウインクス(牝4歳、コックスプレートなど豪G 1・6勝)の126ですが、牝馬減量の4割を考慮すると、こちらがエイシンヒカリに次いで実質世界2位となります。同紙が日本馬に130以上のレーティングを付けたのは、2006年のディーブインパクト(133)に次いで2度目のこと。日本馬2位のディーマジスティ、ドララメンテ、マカヒキなどは123。I F H A国際競馬統括機関連盟の次回発表の国際レーティングでも、エイシンヒカリに単独世界1位のレーティングが与えられることになりそうです。